

平成27年基準

広島県鋳工業生産・出荷・在庫指数

令和2年12月

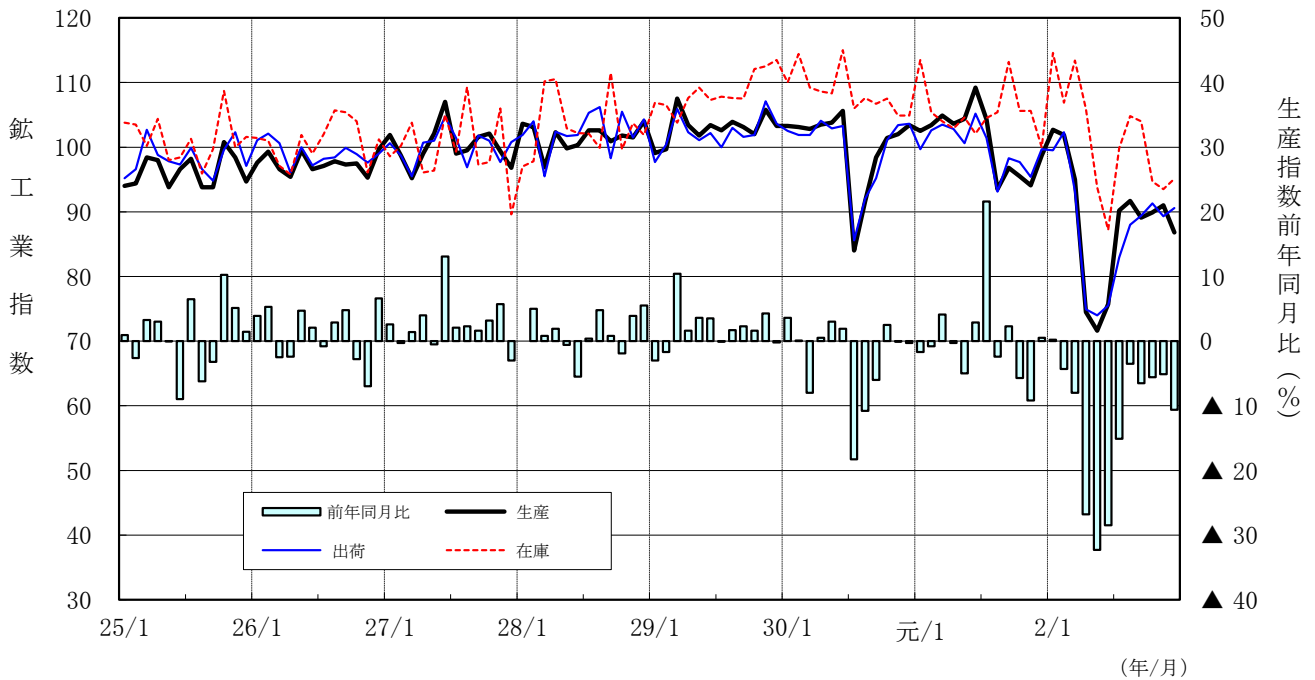
※令和2年年報(速報)も併せて公表

令和2年12月	生産指数 86.8 (平成27年=100)	季節調整済指数
前月比	▲4.6 % 低下	季節調整済指数
前年同月比	▲10.6 % 低下	原指数
令和2年	生産指数 88.2 (平成27年=100)	原指数
前年比	▲12.4 % 低下	原指数

広島県鋳工業指数の推移

(平成25年1月～令和2年12月)

(平成27年=100 季節調整済指数)



広島県の鋳工業活動動向（令和2年12月）

1 概況（指数は季節調整済指数）

- ① 鋳工業生産指数(86.8)は、繊維工業、化学工業などが上昇したものの、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業などが低下に寄与し、3か月ぶりの低下となった。
- ② 鋳工業出荷指数(90.6)は、鉄鋼業、輸送機械工業などが低下したものの、一般機械工業（総合）、電子部品・デバイス工業などが上昇に寄与し、2か月ぶりの上昇となった。
- ③ 鋳工業在庫指数(95.1)は、一般機械工業（総合）、繊維工業などが低下したものの、輸送機械工業、鉄鋼業などが上昇に寄与し、4か月ぶりの上昇となった。

(1) 生産

- ・生産指数は86.8、前月比▲4.6%低下(3か月ぶり)、前年同月比▲10.6%低下(11か月連続)。
- ・業種別にみると、前月比では、繊維工業、化学工業、その他製品工業など6業種で上昇、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業、一般機械工業（総合）など12業種で低下。

(2) 出荷

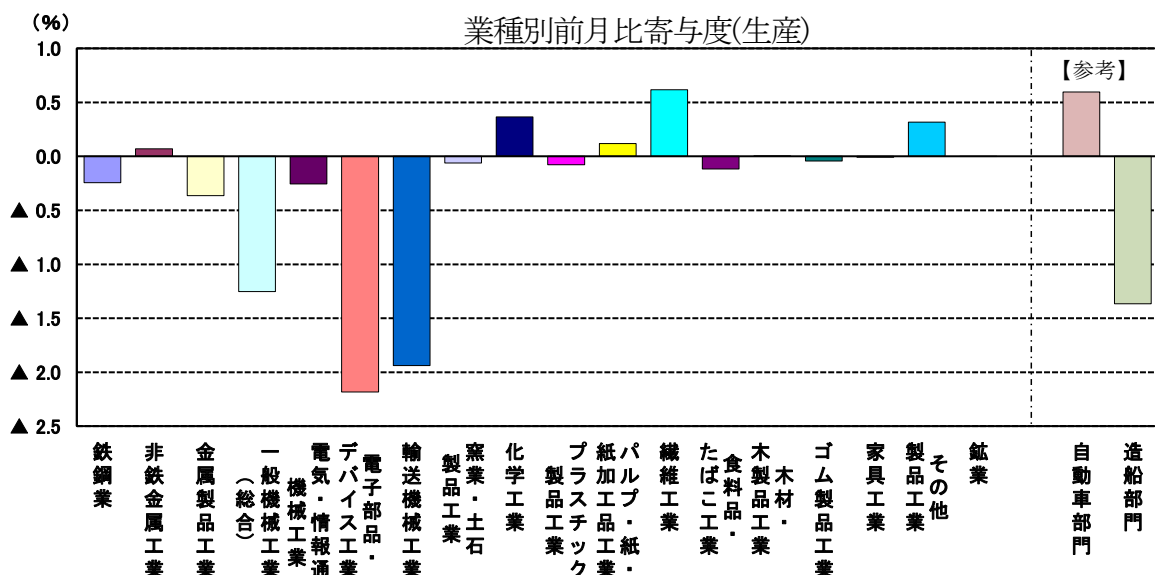
- ・出荷指数は90.6、前月比1.5%上昇(2か月ぶり)、前年同月比▲8.2%低下(15か月連続)。
- ・業種別にみると、前月比では、一般機械工業（総合）、電子部品・デバイス工業、化学工業など9業種で上昇、鉄鋼業、輸送機械工業、金属製品工業など9業種で低下。

(3) 在庫

- ・在庫指数は95.1、前月比1.7%上昇(4か月ぶり)、前年同月比▲4.9%低下(8か月連続)。
- ・業種別にみると、前月比では、輸送機械工業、鉄鋼業、非鉄金属工業など6業種で上昇、一般機械工業（総合）、繊維工業、金属製品工業など11業種で低下。

生産・出荷・在庫 年 月		広 島 県			全 国		
		指 数	前月比	前年同月比	指 数	前月比	前年同月比
生 産	令和2年 10月	89.9	0.9	▲ 5.6	95.2	4.0	▲ 3.0
	r 11月	91.0	1.2	▲ 5.1	94.7	▲ 0.5	▲ 3.9
	p 12月	86.8	▲ 4.6	▲ 10.6	93.2	▲ 1.6	▲ 3.2
出 荷	令和2年 10月	91.3	2.1	▲ 6.5	94.9	4.9	▲ 3.0
	r 11月	89.3	▲ 2.2	▲ 7.4	93.8	▲ 1.2	▲ 4.0
	p 12月	90.6	1.5	▲ 8.2	92.3	▲ 1.6	▲ 3.4
在 庫	令和2年 10月	94.7	▲ 8.9	▲ 10.3	95.7	▲ 1.8	▲ 8.1
	r 11月	93.5	▲ 1.3	▲ 11.4	94.3	▲ 1.5	▲ 9.0
	p 12月	95.1	1.7	▲ 4.9	95.3	1.1	▲ 8.4

注1 rは修正値、pは暫定値



自動車部門：輸送機械工業、電気・情報通信機械工業
プラスチック製品工業の内数
造船部門：輸送機械工業の内数

2 生産の業種別動向（寄与度順）

(1) 前月比（季節調整済指数）（上昇6業種，低下12業種）

上昇した主な業種	前月比	上昇した主な品目
繊維工業	47.0%	合成繊維，再生・半合成繊維，綿織物
化学工業	11.5%	メタクリル酸エステル（モノマー）， プラスチック樹脂，アクリロニトリル
その他製品工業	19.0%	看板，手縫針，毛筆
低下した主な業種	前月比	低下した主な品目
電子部品・デバイス工業	▲13.2%	大規模集積回路，プロジェクトンスクリーン
輸送機械工業	▲6.0%	鋼船修理，船用蒸気タービン，船体ブロック
一般機械工業（総合）	▲7.7%	シヨベル系掘削機械，ボイラの部品・附属品，プレス用金型

(2) 前年同月比（原指数）（上昇9業種，低下9業種）

上昇した主な業種	前年同月比	上昇した主な品目
食料品・たばこ工業	5.7%	清涼し好飲料，冷凍調理食品，飲用牛乳
化学工業	10.0%	医薬品，メタクリル酸エステル（モノマー），酸化第二鉄
繊維工業	14.0%	合成繊維，染色整理，ポリエステル糸
低下した主な業種	前年同月比	低下した主な品目
一般機械工業（総合）	▲32.6%	ボイラの部品・附属品，プレス用金型，シヨベル系掘削機械
輸送機械工業	▲7.3%	鋼船新造，航空機部品，鉄道車両
木材・木製品工業	▲77.9%	特殊合板

3 主要業種の生産動向（指数は季節調整済指数，左側が前月分，右側が当月分）

(1) 鉄鋼業（生産指数 92.6 → 88.9）

- ・生産指数は，前月比 ▲4.0%低下，前年同月比 0.3%上昇。
- ・前月比で低下した主な品目は，鋼帯，鋼半製品，ティンフリースチール。

(2) 一般機械工業（総合）（生産指数 92.6 → 85.5）

- ・生産指数は，前月比 ▲7.7%低下，前年同月比 ▲32.6%低下。
- ・前月比で低下した主な品目は，シヨベル系掘削機械，ボイラの部品・附属品，プレス用金型。

(3) 電気機械工業（総合）（生産指数 128.0 → 110.7）

- ・生産指数は，前月比 ▲13.5%低下，前年同月比 ▲5.2%低下。
- ・前月比で低下した主な品目は，大規模集積回路（電デバ），電気測定機（電気・情報），プロジェクトンスクリーン（電デバ）。

(4) 自動車部門（生産指数 90.6 → 92.7）

- ・生産指数は，前月比 2.3%上昇，前年同月比 1.7%上昇。
- ・前月比で上昇した主な品目は，普通自動車，シャーシ及び車体部品，ディーゼルエンジン。

(5) 造船部門（生産指数 69.1 → 53.2）

- ・生産指数は，前月比 ▲23.0%低下，前年同月比 ▲32.7%低下。
- ・前月比で低下した主な品目は，鋼船修理，船用蒸気タービン，船体ブロック。

令和2年 広島県鉱工業生産・出荷・在庫指数（速報）

広島県の鉱工業生産・出荷・在庫指数(平成27年平均=100)について、令和2年の動きを速報として取りまとめた。

1 概況

～ 生産・出荷は2年ぶりの低下、在庫は3年連続低下～

- 令和2年の鉱工業指数は、生産(88.2)、出荷(87.5)、在庫(89.4)ともに前年に比べ低下した。
〔前年比：生産▲12.4%低下、出荷▲12.4%低下、在庫▲4.9%低下〕
- 四半期でみると、生産はⅠ期とⅢ期は前期を上回ったが、Ⅱ期とⅣ期は前期を下回った。出荷はⅡ期を除いてすべて前期を上回った。在庫はⅠ期とⅢ期は前期を上回ったが、Ⅱ期とⅣ期は前期を下回った。
《生産》Ⅰ期…99.9、Ⅱ期…73.9、Ⅲ期…90.3、Ⅳ期…89.2
《出荷》Ⅰ期…98.3、Ⅱ期…74.8、Ⅲ期…86.8、Ⅳ期…90.4
《在庫》Ⅰ期…113.4、Ⅱ期…87.2、Ⅲ期…104.0、Ⅳ期…95.1

(1) 生産

- ・生産指数は88.2、前年比 ▲12.4%低下(2年ぶり)。
- ・業種別にみると、前年比では、電子部品・デバイス工業、食料品・たばこ工業の2業種で上昇、輸送機械工業、一般機械工業(総合)、鉄鋼業など16業種で低下。

(2) 出荷

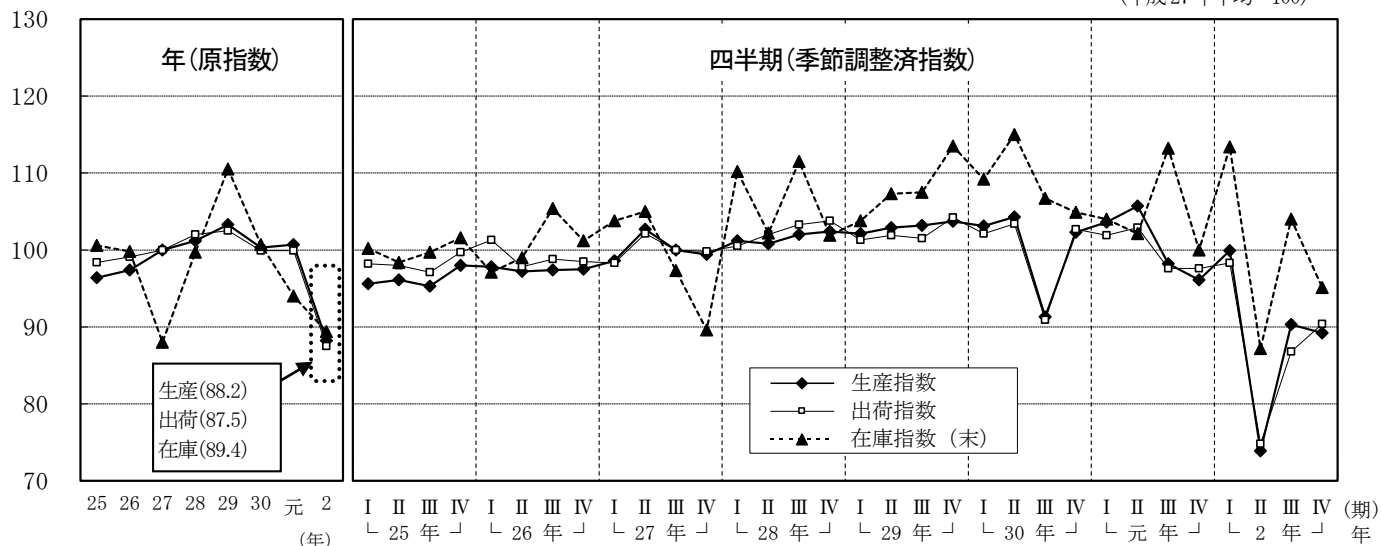
- ・出荷指数は87.5、前年比 ▲12.4%低下(2年ぶり)。
- ・業種別にみると、前年比では、電子部品・デバイス工業の1業種で上昇、輸送機械工業、一般機械工業(総合)、鉄鋼業など17業種で低下。

(3) 在庫

- ・在庫指数は89.4、前年比 ▲4.9%低下(3年連続)。
- ・業種別にみると、前年比では、一般機械工業(総合)、繊維工業、化学工業など5業種で上昇、鉱業は横ばい、輸送機械工業、鉄鋼業、木材・木製品工業など11業種で低下。

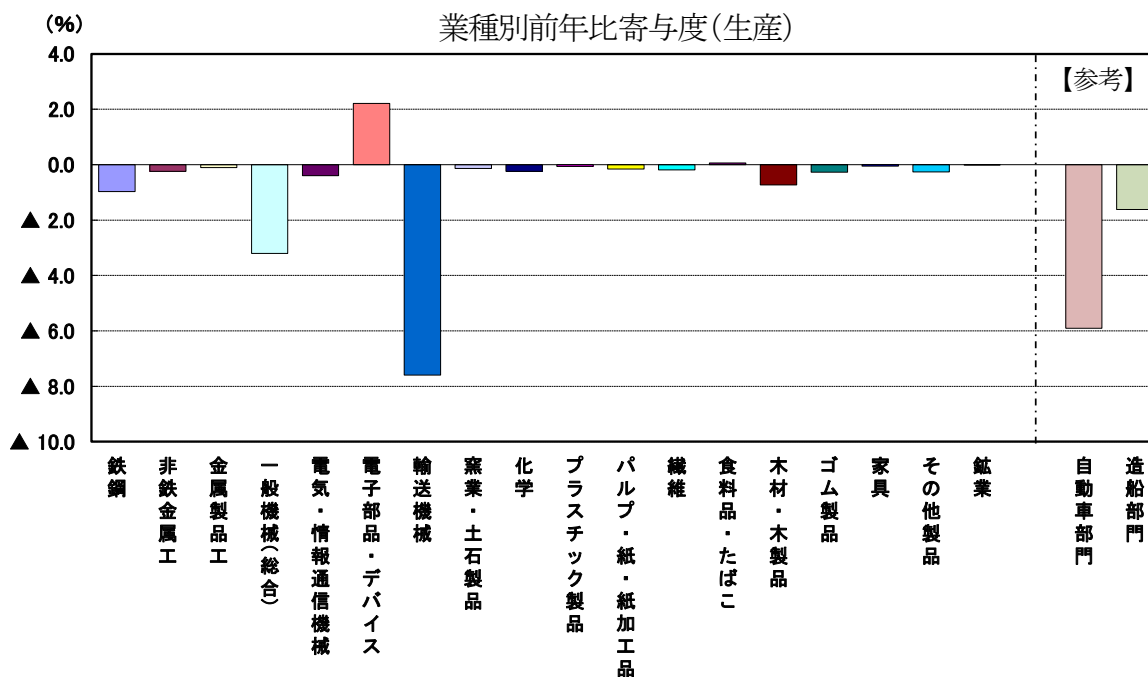
鉱工業指数の推移

(平成27年平均=100)



2 生産の業種別動向（寄与度順）

上昇した主な業種	前年比	上昇した主な品目
電子部品・デバイス工業 食料品・たばこ工業	17.9% 1.1%	大規模集積回路，混成集積回路 清涼し好飲料，飲用牛乳，配合飼料
低下した主な業種	前年比	低下した主な品目
輸送機械工業 一般機械工業（総合） 鉄鋼業	▲22.7% ▲17.0% ▲16.9%	普通自動車，鋼船新造，ガソリンエンジン ボイラの部品・附属品，印刷機械，ショベル系掘削機械 鋼半製品，鋼帯，特殊鋼熱間圧延鋼材



3 主要業種の生産動向（左側が令和元年分，右側が令和2年分）

(1) 鉄鋼業（生産指数 96.7 → 80.4）

- ・生産指数は，前年比 ▲16.9%低下（3年連続）。
- ・低下した主な品目は，鋼半製品，鋼帯，特殊鋼熱間圧延鋼材。

(2) 一般機械工業（総合）（生産指数 118.5 → 98.4）

- ・生産指数は，前年比 ▲17.0%低下（2年ぶり）。
- ・低下した主な品目は，ボイラの部品・附属品，印刷機械，ショベル系掘削機械。

(3) 電気機械工業（総合）（生産指数 109.7 → 123.0）

- ・生産指数は，前年比 12.1%上昇（2年連続）。
- ・上昇した主な品目は，大規模集積回路（電デバ），開閉制御装置（電気・情報），混成集積回路（電デバ）。

(4) 自動車部門（生産指数 103.0 → 80.0）

- ・生産指数は，前年比 ▲22.3%低下（3年連続）。
- ・低下した主な品目は，普通自動車，ガソリンエンジン，シャシー及び車体部品。

(5) 造船部門（生産指数 86.9 → 66.1）

- ・生産指数は，前年比 ▲23.9%低下（2年ぶり）。
- ・低下した主な品目は，鋼船新造，船体ブロック，鋼船修理。

確報については，令和3年10月頃に県ホームページ等で公表予定